

# 日本歯科麻醉学会雑誌

JOURNAL OF JAPANESE DENTAL SOCIETY OF ANESTHESIOLOGY

2023年  
第51巻抄録号

第51回 日本歯科麻醉学会総会・学術集会  
第14回 アジア歯科麻醉学会連合学術大会  
会期：2023年10月6日(金)～8日(日)

プログラム・抄録

会場：出島メッセ長崎

日 齒 麻 誌

J. Jpn. Dent. Soc.  
Anesthesiol.

一般社団法人 日本歯科麻醉学会  
<http://kokuhoken.net/jdsa/>



# 第 51 回

---

## 日本歯科麻酔学会総会・学術集会

The 51st Annual Meeting of the Japanese Dental Society of Anesthesiology

会 長 鮎瀬卓郎

長崎大学生命医科学域医療科学専攻歯科麻酔学分野 教授

プログラム・抄録集

Program and Abstracts

会 期 2023年10月6日(金)～8日(日)

会 場 出島メッセ長崎

## ご 挨拶

来る2023年(令和5年)10月6日(金)～8日(日)の3日間、第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、ならびに第14回アジア歯科麻酔学会連合学術大会(14th FADAS)を長崎市で開催いたします。2023年の本学会総会のテーマは、「次の50年へ～共感と信頼～」としました。歯科麻酔が国民の十分な信頼を得て、全ての患者さんに安心して、安全かつ快適な歯科医療を受けていただけるように、お手伝いできる専門医を育てていく責務があります。また、多職種が連携する、現代の医療環境において、歯科麻酔医が全ての医療スタッフの仲間から共感を得られるのが鍵になってきます。長崎は歴史的に中国・台湾・東南アジアとの文化の繋がりが深く、また、経済面での密接な友好関係が築かれています。この地で、初めてアジア歯科麻酔学会連合学術大会が同時に開催される意義を大切にしたいと思います。

コロナを克服したこの時期に、志を同じくする海外からの臨床医および研究者をお招きして、最新の医学研究の成果について活発な議論ができることは、これからの国際協調関係をどのように推進して、国境を越えて全ての患者さんと医療者で「empathy and trust」を共有していくために貴重な機会になると考えています。

長崎にも西九州新幹線“かもめ”が開通し、すでに新しい長崎が始まっています。西洋医学の発祥の地から、歯科麻酔が将来向かうべき方向を、久しぶりの現場に集える多幸感の中、皆様と議論する場にしたいと思います。

参加者の皆様にとって、有意義で発展が期待できる会議となるよう、会長、プログラム委員、事務局が一丸となり、多くの魅力的な企画を練っております。1) 歯科麻酔科医の専門性を国民にどのように周知していくのか？、2) 諸外国との国際交流の中での歯科麻酔の国際化をどう推進するのか、3) 歯科麻酔学の教育はどうあるべきなのか？など、大切な講演を中心にして、「共感と信頼」とは何かを参加者と見つけていきたいと思えます。見逃さない、聴き逃がせない講演とシンポジウムを沢山用意しました。

会期中はちょうど長崎中の町を挙げ、寛永11年(1634年)から続く、諏訪神社の秋季大祭「長崎くんち」も開催されます。

是非、本学術集会に御参加いただき、次の時代を牽引する歯科麻酔医としての、責任と誇りを持って、最新の医学知識と医療技術、仲間の元気なエネルギーをともにお持ち帰りいただければと願っております。

第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会

第14回アジア歯科麻酔学会連合学術大会

会長 鮎瀬 卓郎

長崎大学生命医科学域医療科学専攻歯科麻酔学分野教授